

交通政策審議会交通体系分科会

第 1 2 回環境部会資料

(平成 1 9 年 5 月 8 日)

資料一覧

- 資料 1 — 1 運輸部門における対策・施策の進捗状況及び CO2 削減量の暫定評価（案）
- 資料 1 — 2 運輸部門における対策・施策の進捗状況及び CO2 削減量の暫定評価（案）説明資料
- 資料 1 — 3 運輸部門の全 CO2 排出量の見通し（暫定評価）（案）
- 資料 1 — 4 対策・施策の新しい視座と今後の方向性（案）

平成 1 9 年 6 月



国土交通省

運輸部門における対策・施策の進捗状況及び CO2 削減量の

暫定評価（案）

CO2 など温室効果ガスの人為的排出に起因し、地球規模で進行している気候の温暖化は、我々人類の生存基盤を脅かすものであり、国際社会が克服すべき共通の、かつ重要な課題である。わが国では、温室効果ガスの削減に関する国際的約束を果たすため、2005 年 4 月に京都議定書目標達成計画（以下「目達計画」という）を閣議決定し、政府、国民が一体となって地球温暖化対策を推進している。

目達計画においては、「第 1 約束期間の前年である 2007 年度に、目達計画に定める対策・施策の進捗状況・排出状況等を総合的に評価し、第 1 約束期間において必要な対策・施策を 2008 年度から講ずるもの」とされている。

本環境部会では、このうち運輸部門における目達計画所定の対策・施策の進捗状況及び CO2 削減量について、現在入手可能なデータに基づき、暫定的な評価を行った。

なお、京都議定書上、第 1 約束期間である 2008 年度から 2012 年度の 5 年間の平均での削減目標を達成する必要があるが、政府の目達計画ではその期間の中央である 2010 年度を目標年度としている。

1. 運輸部門の目標年度（2010 年度）における全 CO2 排出量の見通し

目達計画では、運輸部門における「2010 年度の排出量の目安としての目標」は、約 2 億 5,000 万 t-CO2（基準年（1990 年度）比で 15.1%の増加）である。

目達計画に基づき、これまで推進されている様々な対策・施策が、

① 着実に進捗すると仮定したとき（「削減が進むケース」）

② 予測の前提に不確実性のある一部の対策・施策の効果が低位に進捗すると仮定したとき（「削減が進まないケース」）

の 2 ケースにおいて、2010 年度の全 CO2 排出量の見通しを国土交通省が推計した。

①「削減が進むケース」では、約 2 億 4,500 万 t-CO2 で基準年比約 13%の増加となり、目達計画上の目標を約 500 万 t-CO2 下回る見込みとなった。

②「削減が進まないケース」では、約 2 億 5,200 万 t-CO2 で基準年比約 16%の増加となり、目達計画上の目標を約 200 万 t-CO2 上回る見込みとなった。

なお、「削減が進むケース」においては、個別の対策・施策ごとの CO2 削減量の 2010 年度の予測値又は高位の値を集計した。「削減が進まないケース」においては、基本的には CO2 削減量の 2010 年度の予測値又は低位の値を集計した。

II. 個別対策・施策の進捗状況、CO2 削減量の評価

各個別の対策・施策ごとに、次の項目の評価結果を踏まえて、対策の進捗状況や目達計画上の目標の達成可能性等について評価を行った。

なお、2010 年度の予測値については、予測の前提がある程度確実と考えられるものについては、1つの値（予測値）を用いることとし、予測の前提に不確実性が生じるものについては、高位及び低位の2つの値を採用した。

[対策評価指標]

- ① 目達計画上の目標値（2010 年度）
- ② 現時点で入手可能な最新の実績値
- ③ 2010 年度の予測値

[CO2 削減量]

- ① 目達計画上の目標値（2010 年度）
- ② 現時点での入手可能な最新の実績値
- ③ 2010 年度の予測値

※原則として 2002 年度起点であるが、02 年度値がないものなどは起点が異なる。

1. 自動車単体対策及び走行形態の環境配慮化

(1) 環境に配慮した自動車使用の促進（エコドライブの普及促進等による自動車運送事業等のグリーン化）

エコドライブ関連機器の導入補助等により、CO2 排出の削減効果が現れており、2010 年度時点では概ね目標達成可能な水準である。引き続き、補助の継続等により、対策・施策の着実な進捗を図っていく必要がある。

[対策評価指標]： 1) トラック、バスにおけるエコドライブ関連機器の普及台数

2) タクシーにおける高度 GPS・AVM システム車両普及率

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ① 目達計画上の目標値（2010 年度） | 1) 20 万台、2) 16% |
| ② 実績値（2005 年度） | 1) 7 万台、2) 7.4% |
| ③ 2010 年度の予測値 | 1) 20 万台、2) 16% |

[CO2 削減量]（2002 年度を起点として）

- | | |
|----------------------|---------------|
| ① 目達計画上の目標値（2010 年度） | 約 128 万 t-CO2 |
| ② 実績値（2005 年度） | 約 44 万 t-CO2 |
| ③ 2010 年度の予測値 | 約 128 万 t-CO2 |

(2) 環境に配慮した自動車使用の促進（アイドリングストップ車導入支援）

現在、各自動車メーカーによるアイドリングストップ装置を搭載した自